

投資者の皆様へ

2020年3月24日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第311号
 加入協会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

弊社ファンドの基準価額の下落について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。直近でインド及び米国の株式市場が大幅に下落した影響から、3月24日における弊社の下記ファンドの基準価額が大きく下落いたしました。

その要因等についてご報告申し上げます。

1. 基準価額及び騰落率(3月24日)

ファンド名称	基準価額	前営業日比	騰落率
SBIインド&ベトナム株ファンド	6,755円	▲891円	▲11.7%
SBIインド・スリランカ・バランス・ファンド(年4回決算型)	7,562円	▲529円	▲6.5%
グローバル・リート・トリプル・プレミアム・ファンド(毎月分配型)(愛称:トリプル・プレミアム)	550円	▲29円	▲5.0%
SBI世界高配当株プレミアムファンド(為替ヘッジあり)＜資産成長コース＞ (愛称:長生き人生)	6,777円	▲383円	▲5.3%
SBI世界高配当株プレミアムファンド(為替ヘッジあり)＜年7%定率払出しコース＞ (愛称:長生き人生)	6,130円	▲349円	▲5.4%
SBI世界高配当株プレミアムファンド(為替ヘッジあり)＜年15%定率払出しコース＞ (愛称:長生き人生)	5,448円	▲310円	▲5.4%

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

2. 基準価額の主な下落要因及び今後の見通し

本レポートに記載のファンドに関する下落要因及び今後の見通しは以下の通りです。

3月23日のインド株式市場は、代表的な株価指数であるSENSEX指数(前営業日比▲13.15%)、NIFTY指数(同▲12.98%)が、新型コロナウイルスの感染拡大をめぐる懸念の高まりと終息が見えない先行き不透明感から、世界の株式市場と連動する形で急落しました。

インド政府は、現時点で新型コロナウイルスが報告されている同国内の州・政府直轄エリアの内、80都市のロックダウンを発表しました。主要な株価指数については下限となる10%のサーキットブレーカーが発動されたものの、取引再開後も下落基調が続きました。全セクターが前営業日比マイナスで取引を終え、BSE銀行株指数(前営業日比▲16.81%)が最も下落しました。

あらゆるセクターでまとまった売り注文が観測され、幅広い銘柄の株価が下落しました。BSE大型株指数、中型株指数、小型株指数は、それぞれ▲12.94%、▲12.83%、▲12.27%となりました。

また、23日の米国株式市場では、主要株価指数となるダウ工業株30種平均が前営業日比▲3.04%の下落となり、米国リート市場では、主要株価指数となるS&P先進国リート指数が、20日は同▲1.29%、23日は同▲3.89%の下落となりました。

このような海外市場の下落に伴い、弊社が運用するファンドの組入銘柄の株価も影響を受けたことから、各ファンドの基準価額も大幅に下落しました。

新型コロナウイルスは、欧米での感染者数が急増していることから、各国の中央銀行は金融面の措置を講じており、各国政府も機動的な財政出動に動き始めています。しかしながら、世界経済への打撃の規模が見通しにくいいため、財政金融政策による下支えだけでは投資家心理の好転が見込めない状況になりつつあります。

直近では神経質な展開であるものの、各国の新型コロナウイルスの流行阻止に向けた措置が奏功し、感染拡大に歯止めがかかるとともに、終息に向けた兆候が見え始めれば、株式市場も次第に落ち着きを取り戻し、反発基調に転じる可能性があると考えています。

このような環境下、当社では、引き続き適時適切な運用を行うべく尽力していく所存ですので、今後ともよろしくご依頼申し上げます。

以上

投資信託にかかるリスク

投資信託は、主に国内外の株式・公社債等値動きのある証券を投資対象としますので、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行体の財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、その結果、大きく損失を被る場合があります。

また、投資信託は、それぞれの投資信託ごとに投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料 上限 3.3%(税抜 3.0%)

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額 上限 0.5%

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬 上限 2.2%(税抜 2.0%)

※成功報酬制を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限等を示すことができません。また、上記上限を超える場合があります。

●その他の費用

監査費用、有価証券売買時にかかる売買手数料、信託事務の諸費用等が信託財産から差引かれます。その他の費用は、監査費用を除き、運用状況等により変動するものであり、事前に料率、上限額等を示すことができません。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用等につきましては、一般的な投資信託を想定しています。費用の料率につきましては、SBIアセットマネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、ご負担いただく費用における上限を記載しております。また、成功報酬を採用する投資信託については、基準価額の水準等により報酬額が変動するため、上限額を超える場合があります。投資信託にかかるリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、お申込みの際には、必ず該当投資信託の投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ、もしくは同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。